

建物外観



概要

所在地：東京都豊島区東池袋一丁目18番1号
竣工：2020年5月
耐震区分：新耐震【制震構造】
設計：鹿島建設株式会社一級建築士事務所
施工：鹿島建設株式会社
構造：S造・SRC造・一部RC造
規模：地上33階、地下2階
敷地面積：3,619.67m² (1,094.95坪)
延床面積：68,600m² (20,751.50坪)
基準階天井高：2,900mm
基準階床荷重：500kg/m²
空調方式：個別空調(空冷ヒートポンプパッケージ方式)
床仕様/仕上：OA床(100mm)/タイルカーペット
電気容量：60VA/m² ※基準階
エレベーター：シャトルEV5基、バンクEV各5基(低、中、高)、非常用2基
ビル利用可能時間：24時間(平日・土日祝)
駐車場：機械式117台(うちハイルーフ対応39台)、自転車80台
特記事項：◆床荷重:ペーデューティーゾーン1,000kg/m²
◆コンセント容量:最大80VA/m²まで増設可能
◆空調:1707最大82ゾーン(約13~26m²/ゾーン)
◆内部階段設置可能
◆社員食堂対応可能フロアあり(1バンク毎に1707)
◆ビル側非常用発電機より非常時電源供給可能(オプション対応)
◆テナント用非常用発電機の設置スペース

募集条件

敷金	ご相談	賃料	ご相談
償却なし		共益費なし	
更新料なし		その他	
専有部清掃	有償:別途見積		駐車場空有り

地図



交通アクセス



当物件のポイントについて

① 駐車場多数空きあり

⇒現時点で普通車29台、ハイルーフ15台の空きがございます(2024/6/20時点)

※※ 駐車場 ※※ ※空車台数は都度確認

・機械式駐車場(1号機)

ハイルーフ	サイズ	長さ5,300mm×幅1,950mm×高さ2,050mm、重量2,500kg	全18台
普通	サイズ	長さ5,300mm×幅1,950mm×高さ1,550mm、重量2,300kg	全36台

・機械式駐車場(2号機)

ハイルーフ	サイズ	長さ5,300mm×幅1,950mm×高さ2,050mm、重量2,500kg	全21台
普通	サイズ	長さ5,300mm×幅1,950mm×高さ1,550mm、重量2,300kg	全42台

B1階 駐車場



② テストキッチン設置相談可(13,14階)

⇒13,14階の一部でテストキッチン設置のご相談ができる可能性がございます(1フロア以上のご契約に限る。ガス使用不可。)

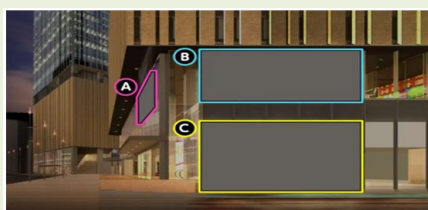
③ 内部階段設置相談可(13,14階 計932.70坪)

⇒13,14階連続階でのご契約の場合、内部階段設置のご相談ができる可能性がございます(設置想定位置は裏面の13、14階平面図参照)

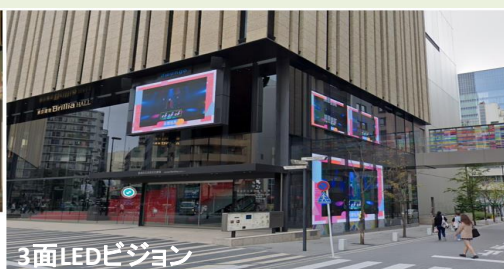


④ イベントの開催や広告の掲出可能

⇒「中池袋公園」や「パークプラザ・シネマプラザ前イベントスペース」等でのイベント開催(事前審査要。中池袋公園は商業色が強いイベント開催不可。)や「3面LEDビジョン」、「街路灯バナーフラッグ」での広告掲載が可能です。



ビジョンサイズ: A面 W5,600×H3,200mm/B面 W9,640×H2,400mm/C面 W8,640×H4,320mm
 放映時間: 8:00~23:00 (15時間/日) ※放映保証 11時間/日
 放映回数: 44回/日 4回/時間 (15秒CMの場合)
 音声: 音声対応 (A/C面のみ)



3面LEDビジョン



街路灯バナーフラッグ



中池袋公園

募集区画

階	募集面積	入居時期	備考
13	1,541.68 m ² (466.35 坪)	即	
14	1,541.68 m ² (466.35 坪)	即	
27	1,115.76 m ² (337.51 坪)	即	
27①	317.97 m ² (96.18 坪)	2024/12/1(予定)※	分割の場合
27②	317.97 m ² (96.18 坪)	2024/12/1(予定)※	分割の場合
27③	479.82 m ² (145.14 坪)	2024/12/1(予定)※	分割の場合

※分割時の入居時期については、契約締結時期によりご相談



Hareza Tower

13、14階平面図





27階平面図



27階平面図

サンプルレイアウト

コミュニケーション活性化、企業ブランディングなど
さまざまなニーズに合わせたオフィスレイアウトを実現します。

Flexible floor plan accommodates all business operations with smooth communication, efficient operation, and corporate branding.



アクティビティ・ベースド・ワーキングスタイル

Activity Based Working Style

定員数 185席 コミュニケーション席 80席

1人あたり専有面積

8.74㎡/人(2.64坪/人)

会議室 27名用×1/12名用×2
/8名用×3/6名用×2

Seats 185 Communication Seats 85

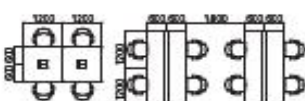
Effective space per person 8.74㎡

Conference & Reception rooms

For 27 people × 1 / For 12 people × 2/
For 8 people × 3 / For 6 people × 2

通路幅とデスクサイズ

Passage width and desk size



※サンプルレイアウトは基準階(22~24階)のものでございます



アイランドスタイル

Island Style

座席数 296席 コミュニケーション席 62席

1人あたり専有面積

5.46㎡/人(1.65坪/人)

会議室 27名用×1/

12名用×2/6名用×5

Seats: 296 Communication Seats: 62

Effective space per person: 5.46㎡

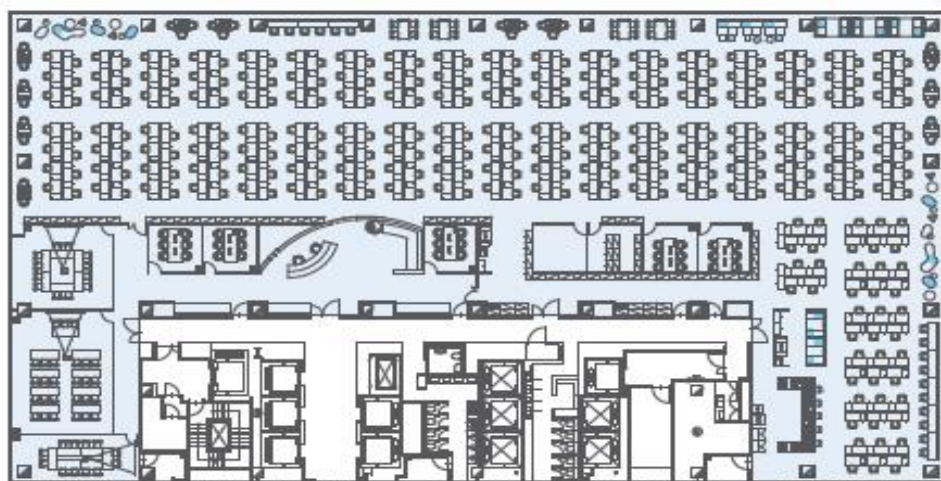
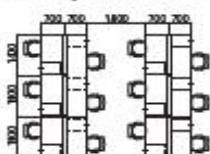
Conference & Reception rooms

For 27 people × 1 /

For 12 people × 2 / For 6 people × 5

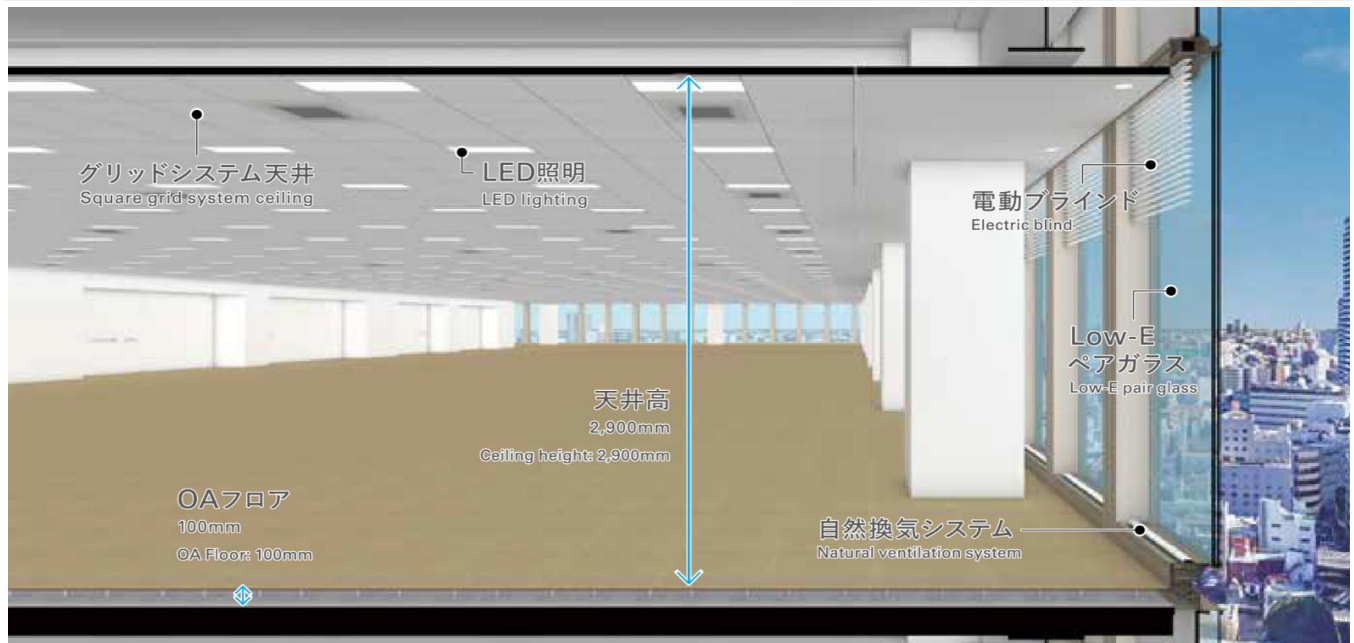
通路幅とデスクサイズ

Passage width and desk size



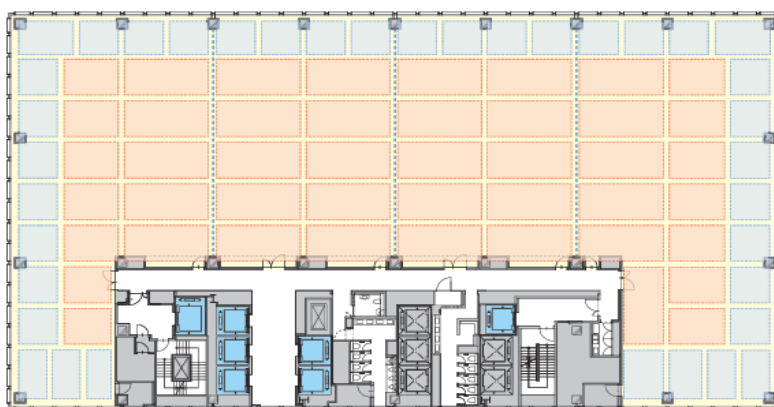
オフィス設備

天井高2,900mm、OAフロア100mm。先進のスペックを備えて、セキュリティや万一の備えにも配慮。床にはアースカラーを基調とし、外装と統一した木立をテーマとしたデザインのタイルカーペットを採用し、明るく、暖かい印象を演出。さまざまなニーズに合わせたレイアウトを実現し、コミュニケーションが取りやすく、働きやすい、快適なオフィスライフをバックアップします。



 天井高 2900mm	 OAフロア 100mm	 グリッドシステム 天井600mm角	 照明設備 LED照明
 コンセント容量 60VA/㎡ (80VA/㎡ まで増設 可能)	 電動ブラインド	 自然換気システム	 Low-E ペアガラス
 各扉に IC カードリーダー設置	 給水・排水対応可能	 各フロアにだれでもトイレ設置	
 ヘビーデューティーゾーン 1000kg/㎡	 最大5階層 (連続する4フロアの階段部開口工 事) の内階段設置可能		

基準階(22~24F)の空調ゾーニング図



インテリアゾーン
(45ゾーン)

ペリメーターゾーン
(37ゾーン)

・個別空調システム

グリッド型空調機を細かく配置することで1フロア最大82ゾーン、約13~26㎡毎のきめ細やかな空調制御を実現。ゾーン毎にON/OFF、温度調整はもちろん、冷暖房の切り替えも可能です。

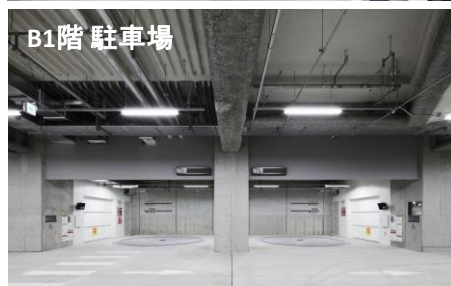
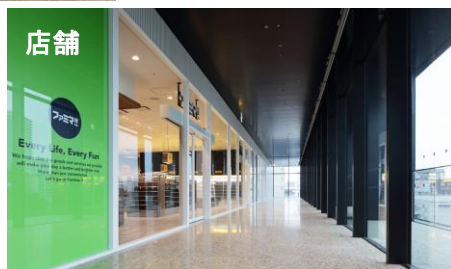
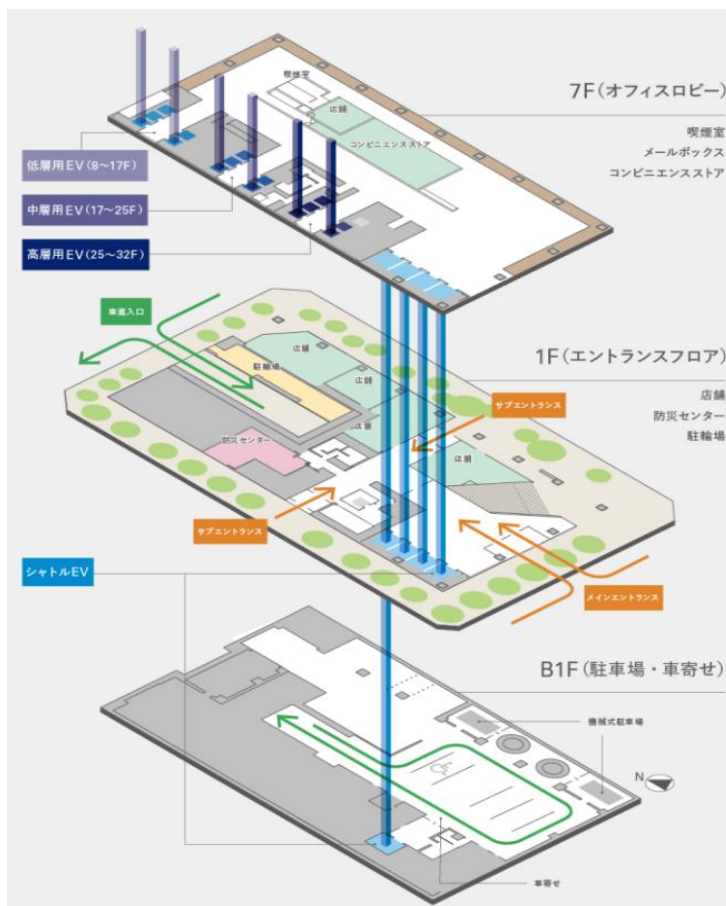
・加湿機能

貸室内の温度管理のために1フロア最大34台の加湿器を設置。

・空調吹出口の個別調整可能

グリッド型空調機の4方向の吹出口は個別の風向制御が可能のため、人への直風を調整でき、快適なオフィス空間を実現します。

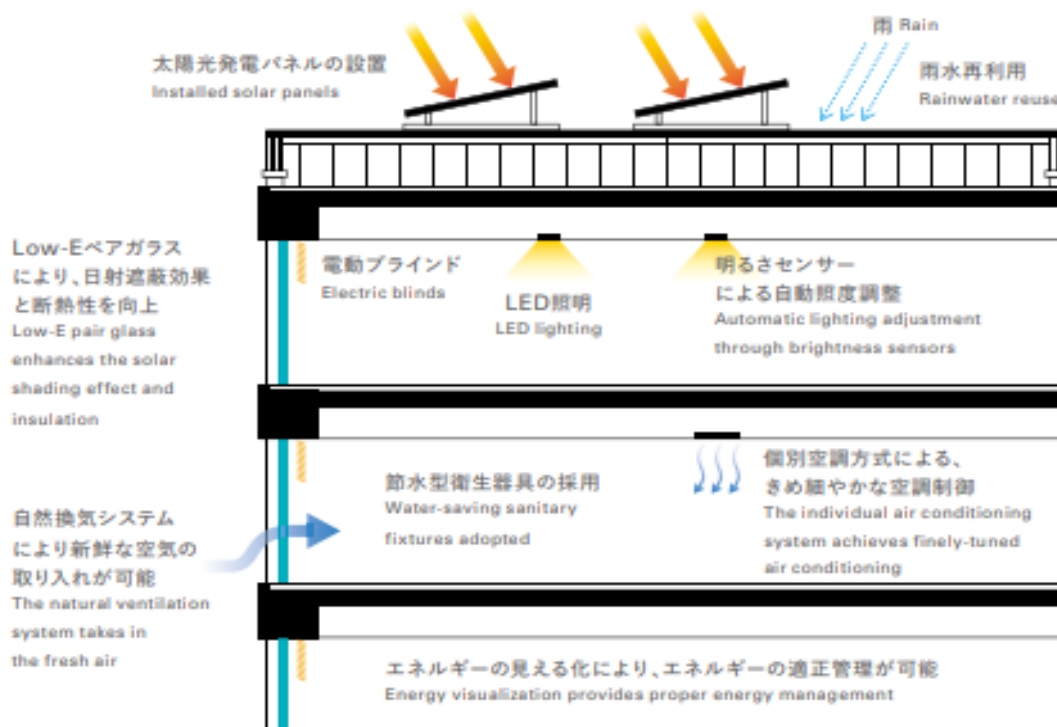
フォトギャラリー (Hareza Tower)



環境への配慮

省エネルギー化で環境への配慮も十分。
地球も、人も快適なオフィス空間です。

Environmentally friendly operation creates a comfortable office space for people and the earth.



ERR 値31%

ERR (energy reduction rate): 31%

設備機器の省エネルギー効率を基準値からの低減率で表す指標。効率の良い空調・換気、照明器具の採用によりERR値を31%以上達成
Energy efficiency of equipment is indicated by the percentage of energy reduced from the standard value. Installation of efficient air conditioning, ventilation, and lighting has achieved an ERR of over 31%.

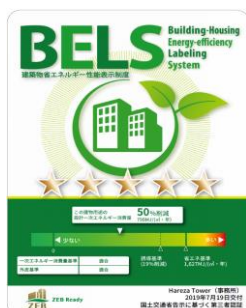


PAL 削減率20%

PAL (perimeter annual load): 20% reduction

建物外周の断熱・遮熱性能を単位面積当たりの熱負荷で示す指標。Low-E複層ガラスを採用し日射遮蔽することで、PAL値を基準より20%以上低減
PAL indicates the thermal insulation properties of the building perimeter by estimating the heat load per unit area. Low-E pair glass blocks sunlight, reducing PAL by 20% lower than the standard.

取得認証



DBJ Green Building
2023

Hareza池袋



01 TOHOシネマズ 池袋

TOHOシネマズ(株)が運営する10スクリーン、約1,700席の大規模シネマコンプレックス、ハリウッドの大作や日本が誇るアニメ作品、邦画作品、単館系アート作品などを幅広く上映します。



05 パークプラザ

レッドカーペットをモチーフにした赤い石が印象的な東京建物 Brillia HALL入口に位置する大階段状のイベント空間。中池袋公園ともガラス越しにつながり、一体感のある演出ができます。



02 シネマプラザ

TOHOシネマズ池袋の玄関口となる階段状の半屋外劇場空間。ブロードウェイから真っすぐ繋がる開放感にあふれた空間設計で人々を誘い、これから始まる物語への期待感を盛り上げます。また、シネマコンプレックスと連動したイベントも開催します。



03 東京建物 Brillia HALL

さまざまな文化活動の拠点として、多種多様な利用に対応できる高い性能を備えた1,248席の多目的ホールです。宝塚歌劇や歌舞伎、ミュージカルなど多様な演目が上映されます。



07 多目的ホール

約500人を収容できる多目的ホールです。講演会、発表会、レセプションの開催など、区民の多彩な自己表現の場として利用でき、また文化創造の拠点として幅広いニーズに対応できます。



08 小ホール

約160人を収容可能。ピアノの発表会や各種演奏会など、区民が気軽に自己表現を楽しめるスペースです。さまざまな催しを通して交流の輪を広げることができます。



04 harevutai(ハレブタイ) [ライブ劇場]

(株)ホニーキャニオンが運営する約500人収容の未来型ライブ劇場。VtuberなどのCGライブが実施可能な透過スクリーンやライブ配信設備を常設するなど、最新鋭の技術で、通常のライブに加えアニメ、ゲームなど最先端のコンテンツも発信可能なエンターテインメント空間です。



中池袋公園

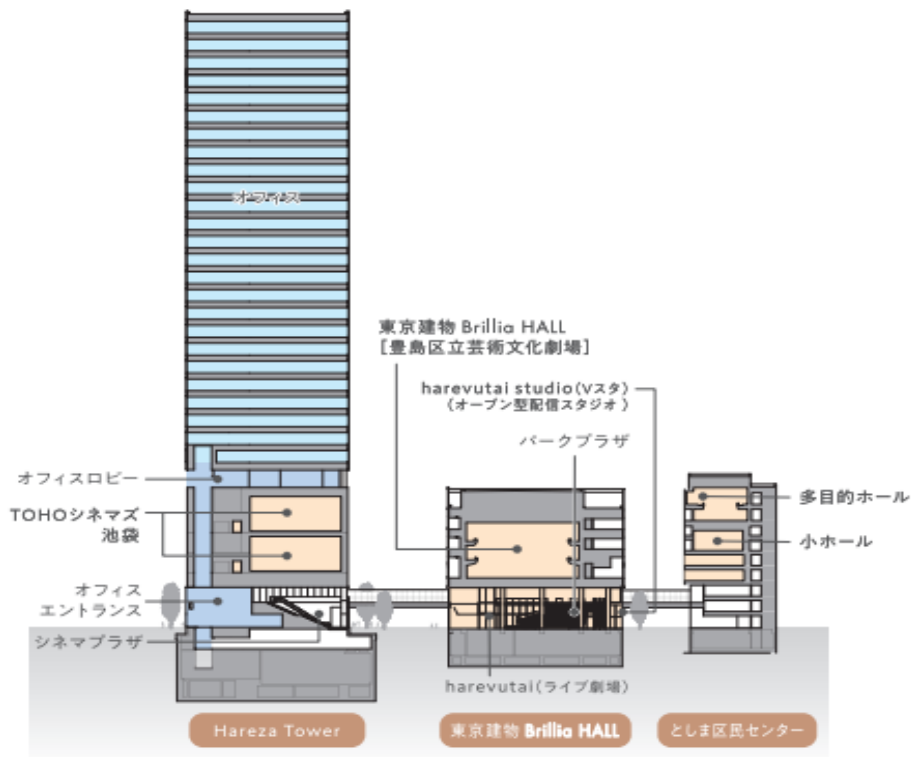
8つの劇場空間に囲まれ、新たな交流の場としてリニューアルされた中池袋公園。Hareza池袋の前庭空間としても新たな賑わいを創出します。日常の憩いの場であり、またアニメ、コスプレなどさまざまなイベントにも対応できるオープンスペースです。



Hareza Tower

T O K Y O
TATEMONO

Hareza池袋



中池袋公園

街路灯バナーフラッグ



中池袋公園



パークプラザ・ラウンジ

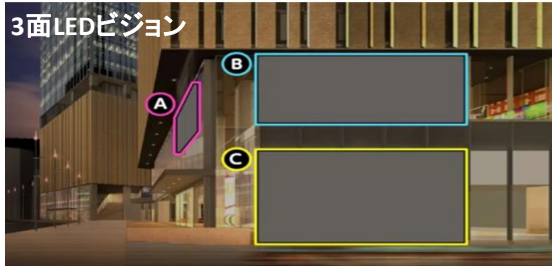


シネマプラザ



シネマプラザ・パークプラザ前イベントスペース

3面LEDビジョン



ビジョンサイズ：A面 W5,600×H3,200mm/B面 W8,640×H2,400mm/C面 W8,640×H4,320mm
 放映時間：8:00~23:00 (15時間/日) ※放映保証 11時間/日
 放映回数：44回/日 4回/時間 (15秒CMの場合)
 音声：音声対応 (A/C面のみ)

幅広いジャンルのイベントや広告掲出、取材・撮影を行うことが可能です。

防災

池袋駅周辺は、東日本大震災時に多くの帰宅困難者が発生し、激しい混乱が生じました。その経験を活かしHareza池袋ではエリア全体で行政と民間が連携した防災拠点の形成を計画。平常時に加え、発災時においても官民が連携することで災害に強い安心・安全の街づくりを実現しました。

中池袋公園（一時待機場所）



中池袋公園は、豊島区が定める「池袋駅周辺エリア安全確保計画」において、一時避難場所として位置付けられています。発災時に安全が確保できず戻る建物が無い人等が、徒歩帰宅を開始するまでや、一時滞在施設へ移動するまでの待機場所等として、発災後数時間～半日程度1,786人を収容することが可能です。

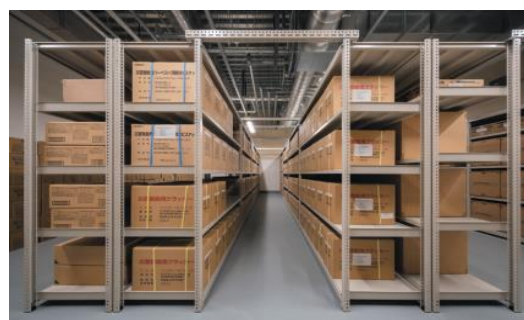
Hareza Tower、東京建物 Brillia HALL（一時滞在施設）

Hareza Tower、東京建物 Brillia HALLは、建物所有者である東京建物とサンケイビルにて豊島区と帰宅困難者受入協定を締結し、帰宅困難者が、発災から交通機関が再開し帰宅可能になるまで、最大3日間滞在することが可能な一時滞在施設となっています。帰宅困難者の受入にそなえ、水、食料、簡易トイレや毛布等の備蓄品の配備に加え、災害用かまどベンチやマンホールトイレも備えており、中池袋公園やとしま区民センターとも連携した、エリアの防災拠点として機能します。

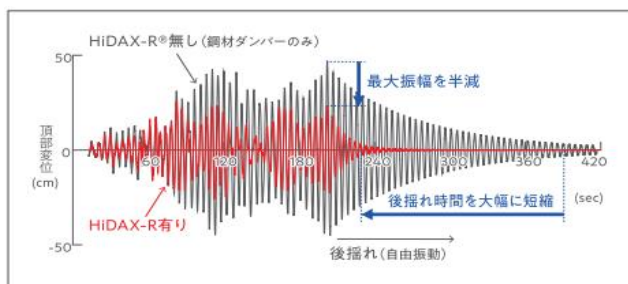
帰宅困難者
受入人数

Hareza Tower	2,150人
東京建物 Brillia HALL	453人

※東京建物 Brillia HALLでは、別途豊島区所有部分にて1,300人受入予定
※としま区民センターでは500人受入予定



最新の制震装置



Hareza Towerは超高層建築物の構造計算基準で定められた地震動の1.2倍に耐える高い耐震性能を確保。加えて、世界初となる振動エネルギー回生システムVERS (Vibration Energy Recovery System) を搭載した新世代制震オイルダンパー「HiDAX-R (Revolution)」を採用しました。風揺れから震度7の大地震までカバーし、特に頻度の高い震度4～5クラスの地震や長周期地震動においては揺れ幅を半減、体感時間を大幅に低減するなどの高い効果を発揮します。(HiDAX-R®は鹿島建設の特許技術です。)

各種イベント



にぎわい
創出

地域環境・
防災性向上

Hareza de 打ち水 [2022.8.9]

豊島区の「打ち水週間」に賛同し、Hareza池袋関係者とHareza Towerで働く方々にご参加いただき、中池袋公園で打ち水を行いました。



第2回Hareza池袋
ごみゼロデー清掃活動 [2023.5.30]
昨年に引き続き豊島区の「ごみゼロデー」に併せて、エリア内の企業・関係事業者様と清掃を行い、環境美化活動に貢献しました。



Hareza池袋防災イベント2023
[2022.10.27, 2023.10.19]
豊島消防署協力のもと、初期消火訓練や煙体験ハウスなどを活用し、災害時を想定した防災イベントを行いました。

としま編んでつなぐまちアート 2023
アート展示 [2023.12.1～2024.1.31]

にぎわい
創出

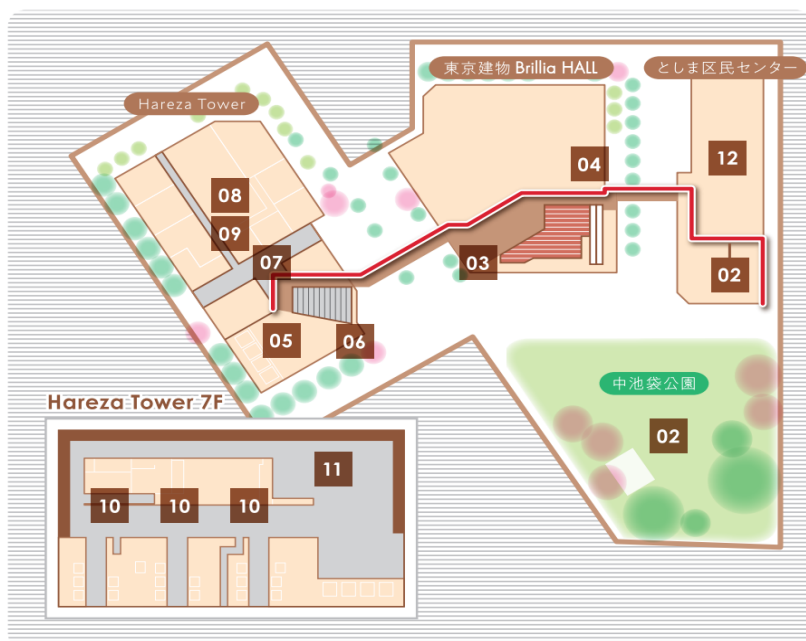
地域環境・
防災性向上

編みものを通して新しい池袋のアート&カルチャーを創出するプロジェクトとして、ワークショップで制作したニットアート作品で池袋の公園や建築物を飾り、池袋のまちを彩りました。

アート

日々目にする景色に
取り込まれたアートを通して、
過去～現在～未来の
池袋を表現

国際アート・カルチャー都市構想のもと、音楽、演劇、文化を通して、人々の出会いとコミュニケーションを演出し、新たな情報を発信していく場所——Hareza池袋。ここで、さまざまなエンターテインメントやビジネスシーンが繰り広げられるなか、「現在」が「歴史」になり、新たな「未来」が生まれる連鎖を随所に配されたアートワークで表現します。



01 三澤 遥 Hareza池袋ロゴデザイン

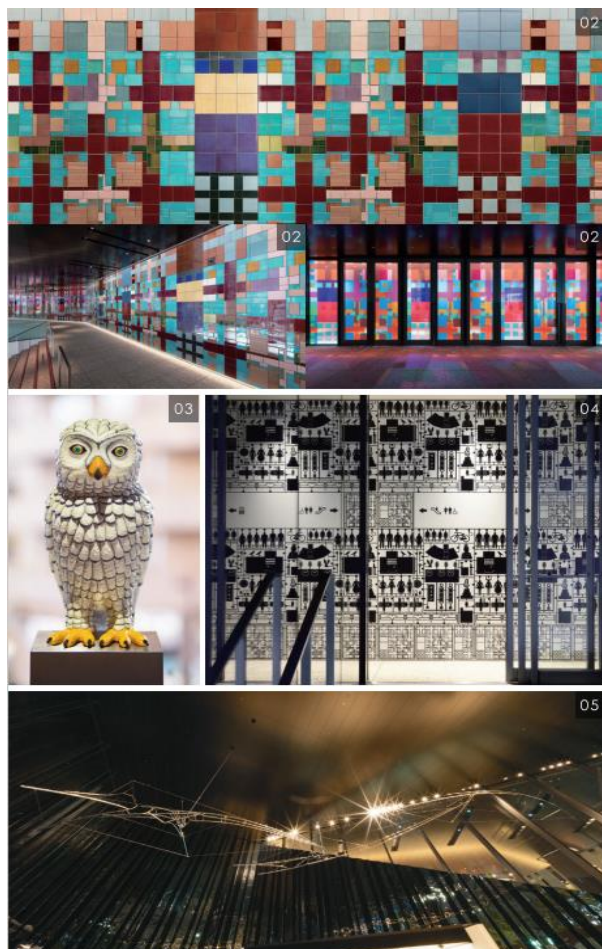
エリアロゴ

作家
紹介

2014年より日本デザインセンターにて三澤デザイン研究室の活動開始。主な仕事に、上野動物園の知られざる魅力をビジュアル化した「UENO PLANET」、ロゴの自在な展開性を追究したKITTEやTOKYO BIG SIGHTのVIがある。

作品
紹介

「まち全体がひとつの舞台となり、誰もが主役になれる劇場都市」というHareza池袋の特徴を形に。横一直線のラインは「舞台」を、奥に続くグラデーションは「光」を表現。

02 岡崎 乾二郎 ミルチス・マヂョル/
Mirsys Majol/Planetary Cummuneアーバンスクリーン
中池袋公園作家
紹介

1955年東京生まれ。造形作家。

作品
紹介

池袋モンパルナスと命名した小熊秀雄が原作した『火星探検』(1940)。ミルチス・マヂョルは子供たちが夢の中で訪れた火星の街の名。圧迫する時代に、小熊は星が語り続けるように表現を続けよう、と未来の希望を火星の街に託したのです。事実、手塚治虫に大きく影響され漫画家になる決心をしました。その希望を色彩に込めました。

03 三沢 厚彦 Bird 2019-01B

東京建物 Brilliia HALL
2Fラウンジ作家
紹介

1989年東京藝術大学大学院修了。2000年動物の姿を等身大で彫った本彫「Animals」を制作開始。主な受賞歴に2001年第20回平藤田中賞、2019年第41回中原二郎賞など。各地の美術館で個展を多数開催。

作品
紹介

芸大受験を決め上京し、池袋近隣に居を構えた。池袋は膨大情報を発信する刺激的な場所だった。今も訪れると当時の高揚感がフラッシュバックする。僕が駅のクロウ像をみていたように、作品を記憶の片隅にとどめてもらえたら嬉しい。

04 テラダモケイ 寺田 尚樹 1/10 Hareza Ikebukuro

東京建物 Brilliia HALL
1F廊下作家
紹介

1967年生まれ。2011年テラダモケイ設立。「TERADAMOKEI(テラダモケイ)」は1/100建築模型用添景セットをはじめ、模型を通じて作る楽しさと作ることを想像する楽しさを伝えている。

作品
紹介

池袋のユニークなストリートカルチャーに、新たなカルチャーの発信拠点となるHareza池袋が関わることで新たな展開を見せる池袋イメージを1/10スケールで表現した。

05 西野 康造 宙をゆく 2020

Hareza Tower
1Fオフィスエントランス作家
紹介

1951年兵庫県生まれ。1977年京都市立芸術大学彫刻専攻科修了。空や風などの自然現象をテーマに、チタン合金を主な素材として、軽やかでダイナミックな大型のパブリックアートを国内外で数多く手がける。

作品
紹介

この作品は宙(そら)をゆく舟です。空のむこう宇宙へと漕ぎ出す舟です。ここHareza池袋が出発の港。都会の喧噪に別れを告げ、ゆっくり、ゆらりと進んでゆきます。ときにキラリと輝きながら。少しの不安と大きな希望をのせて、見知らぬ世界へ。

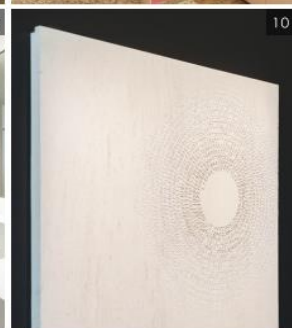
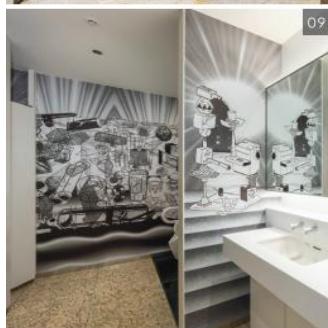
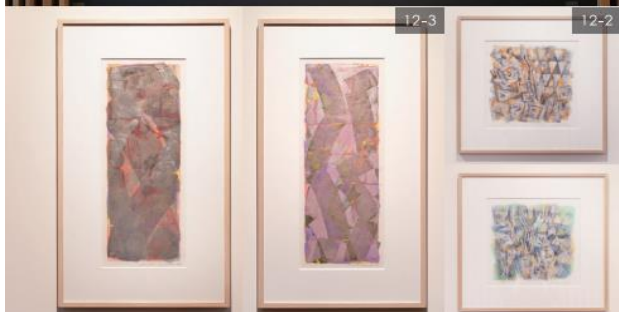
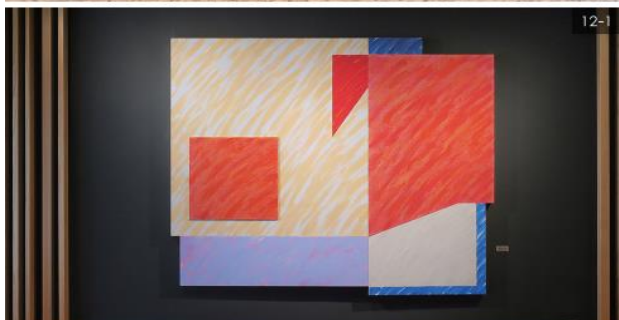


Photo: Isaku Tohara



Photo: Isaku Tohara



06 秋山 陽 地質時代

Hareza Tower
1F オフィスエントランス

作家紹介 1953年山口県生まれ。1978年京都市立芸術大学修了。現代陶芸界において最先端で活躍。陶ならではのディティール、物質性と重量感を強く表現し、ダイナミックな作品を数多く発表。

作品紹介 地表を境にして、天地それぞれの方向に進行する植物の成長。あるいは、過去と未来が往来し混交する場。そこへ傾斜する思いは「地質時代」の通奏低音となっている。

07 久住 有生 土=人

Hareza Tower
1F 貴通通路

作家紹介 祖父の代から続く左官の家に生まれ、23歳で久住有生左官設立。ドイツ、フランス、京都などで左官技術を磨き、歴史的建造物の修復の仕事にも携わる。商業・教育関連施設、個人邸を数多く手がけ、伝統的な左官技術とオリジナリティが、国内外での大きな評価につながっている。

作品紹介 自然、人間の感情、この世界の全ては同じ状態にとどまらず、変化し続ける。そして、人間は地球の一部であり、全ては一瞬の出来事である。

08 西山 美なコ ♡Welcome back★Lady♡

Hareza Tower
1F 女子トイレ

作家紹介 1965年兵庫県生まれ。1991年京都市立芸術大学大学院修了。90年代より日本人女性の典型的な文化をテーマに作品を制作。近年は本質的なものに迫ったなか「かわいい」が散りばめられている。

作品紹介 〜キッチンでポップなお嬢様のお部屋へ、ようこそ、おかえりなさいませ♡〜
手描きのペンで描かれた、へなちょこなお部屋の本当の主人は…きまぐれ黒猫のボボです。

09 金氏 徹平 Hard Boiled Daydream (Restroom)

Hareza Tower
1F 男子トイレ

作家紹介 1978年京都府生まれ。2003年京都市立芸術大学大学院修了。身の回りのモノや概念をコラージュ・集積し再構成することで新たな価値をつくる。近年は舞台美術なども手がける。

作品紹介 ささまざまな別々の物語の断片や物語未満のイメージを複雑に交錯させ、抽象と具象の往来する、スケールを持たない「どこでもない場」を都市の一角に出現させる試みである。

10 久門 剛史 crossfades #5 Found Numbers

Hareza Tower
7F オフィスロビー

作家紹介 1981年京都市生まれ。物事に潜在する「永遠性」と「唯一性」を主題に、音や光、立体、平面など多様なオブジェクトの断片を用い、鑑賞者の知覚を拡張させ、身体感覚を描き出すような作品を多数制作している。

作品紹介 日々の単調な繰り返しにも、同じ場所、同じ時間を過ごすことは二度とない。この作品では、同じ配列を繰り返さない円周率のように、人々が日々の営みを刻みながら、未来へと永遠に広がり続ける様を表現した。

11 野老 朝雄 RHOMBUS CONNECT SEATING

Hareza Tower
7F スカイラウンジ

作家紹介 1969年東京生まれ。幼少時より建築を学び、江頭慎に師事。2001年9月11日より「繋げる事」をテーマに紋様の制作を始め、美術、建築、デザインの境界領域で活動が続ける。単純な幾何学原理に基づいて定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作や、同様の原理を応用した立体物の設計/制作も行なっている。

作品紹介 繋がる菱形の座。組み合わせ方によって、多様な場が生まれる。

12-1,2,3 山田 弘子

としま区民センター
4・5・8F

作家紹介 1951年横浜生まれ。武蔵野美術大学、東京芸術大学大学院で油絵研究を修め、1976年フランス政府給費留学生として渡仏。1979年に帰国後、東京を中心に多くの個展を開催。1993年からアトリエを豊島区に移し2000年には豊島区教育委員に就任し、教育・文化発展に尽くす。2002年没(以下5点野出木貴夫氏寄贈)。

12-1 Stroke

作品紹介 1984年に発表したStrokeシリーズの代表作。変形パネルに異なるキャンバスを張り、凹凸をつけて合体。「色彩に感情を託し繰り返し筆を動かす」ことで、躍動感を放つ。

12-2 縄文

箔に水彩のドローイングを重ねたシリーズ10年目の作品のひとつ。縄文の文様にインスピレーションを得て、箔の光と水彩の色相にて「平面を彫刻」したかのような作品。

12-3 コンポジション

グワッシュに水彩と千切った箔をのせ、更に水彩を重ねた「コンポジション」と題されたシリーズ作品のひとつ。光を放つ箔と水彩の動きと重なりが深い対比を織りなす。